

当事業団の人間ドックで大腸がん検診を受診され 精密検査が必要となった方へのお知らせとお願い

健康診断や人間ドックで行われる便潜血検査による大腸がん検診は大腸がんの死亡率を低下させる効果が明らかになっています。しかし、わが国では大腸がん検診で要精密検査となっても医療機関を受診する人の割合が低いことが問題になっています。当人間ドックの大腸がん検診でも要精密検査となっても医療機関を受診しない人が約40%を占めています。大腸がんは部位別死亡数の女性第1位、男性第3位（2016年）ですが、早期発見・早期治療で95%以上が治る病気です。大腸がんの死亡率を減少させるためにも、精密検査の受診率を上昇させることは重要です。

私たちは自治医科大学共同で、大腸がん検診で精密検査が必要になったものの、医療機関の受診に至らなかった原因を明らかにするための調査研究に取り組んでいます。精密検査を受診できなかった原因を明らかにすることで、精密検査の受診率を向上させるための対策をたてることができると考えています。

2018年度に当事業団で人間ドックを受診された患者様におかれましては、研究へのご協力とご理解をお願い申し上げます。

*ご協力いただきたいこと

受診者様の当事業団における受診記録を研究のために使用させていただきます。また大腸がん検診で要精密検査が必要になったものの、精密検査を受診されなかった方につきましては、別途アンケート調査を郵送いたしますので、ご回答いただければ幸いです。

*ご協力にあたりご理解いただきたいこと

この研究では、当事業団の人間ドックの受診記録から得た情報を分析いたします。分析項目は、要精密検査者の過去5年間の大腸がん検診の結果、精密検査受診状況、他検査の要精密検査項目の有無、現在治療中の疾患の有無、問診情報（性、年齢、居住地、社会的背景、家族構成、家族歴、既往歴、自覚症状等）です。精密検査を受診されなかった方については、別途アンケートを送付いたしますので、ご回答をお願いいたします。

分析項目は個人情報保護のため、当事業団であらかじめ個人が特定できないように処理します。個人が特定できる情報は分析に含みません。データは個人情報が削除された集計表をパスワードで保護されたファイルとして自治医科大学に提供し、分析を実施します。研究結果を公表する場合も個人名が明らかになることはありません。

また収集した情報は個人情報の保護に十分に配慮した上で、大腸がん検診に関連した別の研究課題に利用させていただくことがあります。

尚、受診者様のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の資料などを閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

【研究組織】

栃木県保健衛生事業団 健康増進部健康支援課 石川 みなみ
自治医科大学 地域医療学センター公衆衛生学部門 研究代表者 小佐見 光樹

【研究期間】

研究認可から2024年3月31日まで

この研究に関してご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。原則として、不

参加の意思表示がない場合は同意をいただいたものとみなして受診記録を研究に使用させていただきますが、不参加をご希望の場合はいつでもお申し出ください。

ご連絡をいただいた時点で既に分析が実施されていたり、研究成果が学会・論文などで公表されていたりする場合には、対象から除外することはできませんのでご了承ください。

尚、研究に参加されないことで不利益を受けることは一切ありません。

不参加をご希望の場合は、下記の連絡先にいつでもお申し出ください。

【研究への診療記録の利用を拒否する場合の連絡先】

〒320-8503
栃木県宇都宮市駒生町3337-1
栃木県保健衛生事業団 健康増進部 健康支援課
石川 みなみ
TEL：028-623-7063

【お問い合わせ先】

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1
自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門
小佐見 光樹
TEL：0285-58-7338 FAX：0285-44-7217

【苦情申し出先】

自治医科大学臨床研究支援センター 臨床研究企画管理部管理部門
TEL：0285-58-8933